



手回し発電機で発電体験



マグネシウムで動くミニカー作り



環境のお話

親子エネルギー教室（6月11日開催）

主な内容

6月定例会の概要	2・3ページ
5月臨時会の概要	3ページ
一般質問の概要	4～8ページ
常任委員会審査報告	8～10ページ
議案等の各議員表決	11ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。



議会だよりを音声で聞けます

議会だよりNo.222から、掲載内容を読み上げた音声データをホームページに掲載しています。音声の吹き込みは、音訳ボランティアグループ「麻那の会」の協力で行われています。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

補正予算
の議案

議案第41号

令和5年度大野市一般会計補正予算
(第2号)

可決

6月
定例会の概要

補正前の予算額 → 補正額(増額) → 補正後の予算額
190億7600万円 3億9026万円 194億6626万円

補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
【住民税非課税世帯への物価高騰くらし応援給付金給付事業】 住民税非課税世帯等に対し1世帯当たり3万円を給付	8698万円	8698万円
【がんばる子育て世帯生活応援給付金給付事業】 18歳までの児童を持つ世帯（国の低所得の子育て世帯生活支援特別給付金受給者を除く）に対し、児童1人当たり1万円を給付	3824万円	3824万円
【電気・ガス価格高騰緊急対策事業補助】 県の電気・ガス価格高騰緊急対策事業給付金の受給者に対し1事業者当たり20万円を給付	1300万円	1300万円
【新規就農者経営支援事業補助】 新規就農者が実施する経営発展のための機械の導入に対する補助	938万円	1088万円
【文化会館あり方検討事業】 文化会館のあり方検討委員会の開催や調査の実施	1228万円	1228万円
【屋内型子どもの遊び場整備事業】 遊具の製造・設置に係る実施設計	1000万円	1851万円
【保育サービス向上支援システム導入事業】 保護者の利便性向上と情報共有を図るため保育園業務支援システムを導入	377万円	377万円
【学童保育かんたん連絡ツール導入事業】 学童保育利用者の利便性向上のため入退室管理アプリを導入	144万円	144万円
【らくらく施設予約システム導入事業】 施設予約システム及び鍵管理システムを導入	1289万円	1289万円
【道路・河川監視カメラ導入事業】 市内3カ所に道路・河川監視カメラを整備	1689万円	1689万円

第435回定例市議会が6月5日から6月26日までの22日間の会期で開催されました。
今回の定例会では、令和5年度一般会計補正予算案、条例の改正案、工事請負契約の締結、不動産の譲与、人事案件など全17議案のほか、市会案1件、請願1件、陳情1件について審議しました。
審議結果は、11ページのとおりです。

条例の改正

大野市介護保険条例の一部を改正する条例案

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対し、令和5年4月1日以降に普通徴収の納期限が定められている令和4年度分の介護保険料を減免する改正を行いました。

その他の議案

全ての議員及び市職員の個人としての尊厳が尊重され、信頼される議会を実現するため、所要の改正を行いました。

開成中学校長寿命化改良(統合)工事請負契約の締結について
校舎・体育館を長寿命化改良し、エレベーター棟を増築するため、横田・岡田・中保屋・山二開成中学校長寿命化改良(統合)工事共同企業体との工事請負契約締結を認めました。

不動産の譲与について
ぶなの木台(貝皿区)定住住宅5棟をそれぞれの居住者に無償譲与することを認めました。

人事案件

固定資産評価員の選任について

安田 充氏(泉町)を選任することに同意しました。

市会案

大野市議会基本条例等の一部を改正する条例案

校舎・体育館を長寿命化改良し、エレベーター棟を増築するため、三光産業(株)・桐林組(株)・S P電機・大野衛生設備

承認

専決処分された予算の概要

- ・議案第52号 令和4年度大野市一般会計補正予算（第11号）
3億円を追加
- ・議案第53号 令和5年度大野市一般会計補正予算（第1号）
2600万円を追加

（株陽明中学校校長寿命化改良（統合）工事共同企業体との工事請負契約締結を認めました。

下庄小学校大規模改造（統合）工事請負契約の締結について
校舎・体育館を大規模



下庄小学校 校舎

改造し、職員室棟・児童玄関棟を増築するため、大野建設工業・井尾建設・前田電気・中川設備下庄小学校大規模改造（統合）工事共同企業体との工事請負契約締結を認めました。

議案	補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
52号	【減債基金積立】 減債基金に積み立て	1億円	2億9788万円
	【地域振興基金積立】 地域振興基金に積み立て	1億円	1億5万円
	【学校施設等整備基金積立】 学校施設等整備基金に積み立て	1億円	2億4万円
53号	【子育て世帯生活支援特別給付金給付事業】 低所得の子育て世帯（非課税世帯）に対し、児童1人当たり5万円を給付	1110万円	1110万円
	【ひとり親世帯生活支援特別給付金給付事業】 低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）に対し、児童1人当たり5万円を給付	1490万円	1490万円

請願・陳情

「刑事訴訟法の再審規定」の改正を求める意見書を国に提出するよう求める請願

日本国民救援会福井支部支部長 岸下淳一氏からの本請願は、不採択としました。

保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情

よりよい保育を！福井県実行委員会代表 中西武司氏からの本陳情は、趣旨採択としました。

5月臨時会の概要

副市長の選任について

嶋田敏文氏（福井市城東一丁目）を選任することに同意しました。

消防ポンプ自動車売買取約の締結について

消防ポンプ自動車並びに積載品及び艀装一式2台について、（株）セーフティ・ユニオンとの売買取約締結を認めました。

第434回臨時市議会が5月19日に開催されました。今回の臨時会では、副市長の選任、消防ポンプ自動車売買取約の締結の2議案について審議しました。審議結果は、11ページのとおりです。

議会改革への取り組み

2月の改選を経て、大野市議会第18代による議会運営がスタートしています。

市民の負託を受けた二元代表制の一翼を担う議会として、理事者との良い緊張感の下で大野市勢の発展、市民福祉の向上を目指すために、議会内で課題等を共有し、議会改革に取り組んでいきます。

取り組みの第一歩として、今定例会で「大野市議会基本条例」に、「議員は、多様性を認め合う社会において、他の議員や市職員とは互いの人格を尊重し合い、決して相手の尊厳を侵害するおそれがある言動を行うことのないようにしなければならない」という文言を追加する等の改正を行いました。

今後も、議会改革に係る取り組みを着実に行っていきます。

（議長 堀田昭一）

電気料金の改定に伴う公共施設全体での費用増加は



市政会

白崎 貴之 議員
しらさき たかゆき



高圧契約40施設の令和3年度実績の約1億8000万円に対し、本年度は約3億1000万円との試算

問 屋内型子ども遊び場整備事業基本計画(案)のバブリックコメントの意見と反映状況は。

答 遊具や設備及び施設の管理運営に関する意見については、実施設計を作成する段階や、指定管理予定者との管理運営に関する協議の中で、取り入れられるものは取り入れていきたい。

また、駐車場に関する意見については、結ステーション多目的広場兼駐車場の配置見直し、周辺での駐車スペースの確保など、詳細な駐車場計画を検討していく。

施設整備に向けて、市民から意見を聴取してほしいとの意見に対しては、実施設計を作成する段階において、その機会を設けたい。

問 屋内型子ども遊び場の指定管理者の想定業種と実施設計業務への関

わりは。

答 保育所や認定こども園などの社会福祉法人、子育て支援を目的とするNPO法人、企業内託児所や清掃業務を請け負う企業などの単体又は共同企業体を想定し、これに市内の団体や事業者の協力者としての参画を期待している。施設を円滑かつ効果的に管理運営するため、実施設計を作成する各工程で、市と実施設計者、指定管理予定者が打ち合わせを行い、管理運営方針を決定する。

問 電気料金の改定に伴い、公共施設全体でどれくらいの費用増加が見込まれるのか。

答 電力会社の試算によれば、高圧契約をしている施設で、令和3年度の実績が約1億8000万円であるのに対し、本年度は約3億1000万円とされている。

一般質問

農業水利施設の長寿命化・老朽化対策は



もえぎ会

梅林 厚子 議員
うめばやし あつこ



市も事業費の一部を負担し、長寿命化・老朽化の促進に取り組む

問 農業水利施設の長寿命化・老朽化対策は。

答 頭首工や用排水施設などの長寿命化・老朽化対策は、県が事業主体である県営土地改良事業により計画的に実施。実施に当たっては、受益者負担として地元分担金が必要となるが、市も事業費の一部を負担し、長寿命化・老朽化の促進に取り組んでいく。

問 受益者負担は原則だが、近年、土地改良区の自助努力だけで維持するのは困難になってきている。社会状況の変化から土地改良区が解散している地域もある。気候変動による集中豪雨、線状降水帯の発生などにより、農業水利施設に危険が及ぶと、水田はもちろん、近隣住民にも被害が及ぶ。このようなことから市としてできることは。

答 小規模なものは県の補助事業も活用し、負担がかからない方法で行いたい。現状以上に市の補助を増やすことは担当課レベルでは考えていない。

問 真名川の維持流量増量への取り組みは。

答 真名川は、市の地下水へのかん養にも大きく寄与しており、河川維持流量だけでなく、国に弾力的管理運用として、一時的に人工の小規模洪水を起こし、河川に堆積した泥や藻類を流すフラッシュ放流の協力を得ている。県では河川敷内の樹木の伐採や河岸のかく乱を行うなど、河川環境の改善や地下水のかん養に計画的に取り組んでもらっている。

問 真名川で社会的実験をできないか。

答 国、県が協力して維持している状態を常に保持していきたい。

小中学校の女子トイレに生理用品を 設置することを求める



対面での配布が有効であるとする。トイレに
設置する考えはない

無党派

野村

勝人

議員



問 (公財) 日本財団の調査によると生理用品がなくて困ったことがある女子児童・生徒は全国で約17割いる。生理は女性にとって健康や教育に関わる重要なことである。生理用品を学校のトイレに設置する考えはないか。女性の問題である。女性市長の本市が率先して取り組むべき問題ではないか。

答 保健室に生理用品を配置し養護教諭が直接手渡すことで、小さな変化や悩みに気付くことができる。発達段階にある児童・生徒には対面での配布が大変有効であるとする。女子トイレに設置する考えはない。

問 トイレに配置している自治体の実態・状況を調べて取り組まれないか。

答 県内では1市でトイレに配置している。その状況をしっかりと確認する。

問 6月に入り、食品や飲料の値上げに加えて電気料金の値上げ幅も大きく、これからの暑い季節を乗り切るための冷房費の負担が市民に大きくなる。子どもから高齢者まで全市民に物価高騰対策が必要ではないか。今回就任した副市長が手腕を発揮して、市民に納得のいく取り組みをされたい。

答 全国市長会で「物価高騰等を踏まえた地域経済対策の充実強化に関する決議」をまとめ、国に適切な支援を求めている。財政経営的などころも含めて、検討していく。

使用済みおむつの持ち帰りがあるのとないのとでは、 保育所等の入園希望に偏りが起こってくるのではないか



少し公平を欠くところがあるので、市内全ての園において、
園での処分ができるよう、できるだけ早く進めたい

市政会

伊東

由起恵

議員



問 市内の保育所、認定こども園において、使用済みおむつの処分はどのように行っているのか。

答 公立・民間の計14施設のうち、民間の5施設で処分を引き受けており、残りの9施設では保護者が持ち帰っている。

問 多くの自治体で持ち帰りを見直し、保育所等で廃棄する動きが広がっている。また厚生労働省より、使用済みおむつの処分を保育所等で行うことを推奨する方針が出されたが、本市の考えは。

答 保育所等で処分を引き受ける上での課題を整理し、保護者・保育士両方の負担が軽減されるよう取り組んでいく。

問 使用済みおむつの持ち帰りがあるのとないのとでは、今後の保育所等の入園希望に偏りが起こってくるのではないか。

答 おむつの処分を実施している園もあれば、できていない園もある。少し公平を欠くところがあるので、市内全ての園において、園での処分ができるよう、できるだけ早く進めたい。

問 本市では行政のデジタル化を進めており、書かない窓口を設置したが、利用状況は。

答 本サービスは、本年3月にスタートし、住民票や戸籍の証明の交付申請など、タブレット端末を利用することで、氏名や住所を記入しなくても手続きができるようになった。市民生活・統計課が所管する27の申請と住民異動届については全て、それ以外の窓口が所管する児童手当や介護保険などの23の手続きでは約60割を書かない窓口サービスにより受け付けている。

来年4月の中学校再編に向けて、制服と体操服の選定について、現在の状況は

小学校は5・6年生、中学校は全生徒が投票を行い、その結果を基に選定し、6月20日に開催する再編準備委員会に報告する予定



市議会
ひろせ
廣瀬
こうじ
浩司
議員



一般質問



6月20日に決定された制服

問 来年4月の中学校再編に向けて、制服と体操服の選定については、6月中に最終選定を行う予定とのことであったが、現在の状況は。

答 制服と体操服の選定については、4月24日から6月1日までの間、制服はブレザー型3点、体操服は4点をデザイン候補として、全小中学校においてそれぞれ4日間、実物のサンプルを展示し、各学校での展示最終日に、小学校は5・6年生、中学校は全生徒が投票を行った。

その結果を基に、今月

15日に開催するPTA部会で最終選定を行い、20日に開催する再編準備委員会に報告する。

問 補正予算に計上されている通学区域審議会事務経費について、詳しい説明を。

答 本年2月に、有終西小PTAから中学校区見直しアンケートの結果が提出され、校区見直しの検討材料とするよう求められた。

そこで教育委員会は、有終西小を卒業する児童が進学する中学校について、審議会へ諮問することとした。審議会は本年7月から3回開催する予定で、その開催経費を今回の補正予算に計上した。

来年4月から児童が迷いなく中学校へ進学できるように、本年9月までに答申を受け、結論を示せるようにしたい。

文化会館のあり方とは

基本計画の整備方針も一つの案としながら、他の既存施設を活用した改修整備案も含め、新しいあり方について検討する



大野市民の会
さしもと
岸本
かずとし
一敏
議員



問 大野市文化会館整備基本計画どおりに整備を進めていくことが困難な理由は。

答 基本計画で示された新たな文化会館の整備・運営の実現と財政的課題の解消の両立が困難である。

問 市長の判断で基本計画を変更するのはおかしいのでは。

答 文化芸術活動の拠点となる施設について、できるだけ早い時期に方針を示す。現基本計画に基づく整備も一つの案としながら、他の既存施設を活用した改修整備案も含め、新しいあり方について検討する。

問 基本計画は今も生きている計画なのか。

答 今も生きている計画である。

問 文化会館のあり方検討事業とは何か。

答 他の既存施設を利用

した場合の概算事業費算出、図面作成、劣化度・法適合調査を委託する。

問 他の既存施設を活用した整備案とはどの施設を指すのか。

答 可能性ある施設としては学びの里「めいりん」。ただし、決定しているわけではない。

問 文化会館は地元住民の防災拠点に位置付けられている。移転となった場合の避難場所はどうなるのか。

答 市の別施設を代替避難所として開設する。

問 防災施設を兼ね備える文化会館のあり方検討ではないのか。

答 文化振興と市民の発表の場をどうにかしたい。防災関係では、避難所対策や河川改修をする中、流域治水の考え方も入れている。家庭内の安全な場所に避難し、また避難所も利用いただきたい。

空き家バンクの登録数や契約成立の状況は



成約件数は直近5年間で最高である。平成30年度より倍増

もえぎ会

木戸屋八代実 議員



- 問** 本市の令和4年度の不登校児童・生徒数は。
- 答** 小中学校で1000人当たり19・9人。令和3年度と比べてわずかな減少に留まっている。
- 問** 不登校児童・生徒の増加に対して、教育委員会はどのように学校現場を支援しているのか。
- 答** タブレット端末を用いて、心と体の調子を教職員に伝えることができ、心と体の調子を選び、相談の希望も気軽に出来るようになった。
- 問** 子ども・子育て部門が教育委員会部局になったので、各専門職員が教員等とタイアップし、学校と家庭をつなぐ支えとなり、県教育委員会や総合福祉相談所、健康福祉センター、小児科医とも連携を図っている。
- 問** 令和5年度当初予算「結の故郷地域が輝く交付金事業」はどのように使われているのか。
- 答** 地域活性化、グループ活動応援、集落内交流、屋根雪下ろし等支援、地域課題解決の5事業である。
- 問** そのうち地域課題解決事業の予算は。
- 答** 約1000万円。ほとんどが、大野地区の活動への支援である。
- 問** 近年の空き家バンクの登録や契約成立の状況は。
- 答** 令和4年度成約件数は、直近5年間で最高である。平成30年度から倍増している。空き家利活用促進を行う地域おこし協力隊の精力的な活動が良い影響をもたらしている。移住相談の件数も増加傾向にあり、相談件数に比例する形で移住者も年々増加している。

文化会館あり方検討委員会のスケジュールは



令和6年秋頃までにあり方と今後の方向性をまとめる予定

市政会

高田 育昌 議員



- 問** 文化会館の新しいあり方検討事業の調査の場所と内訳は。
- 答** 多目的ホールを備えた既存施設を2カ所程度予定。改修した場合の概算事業費算出や図面作成、建築基準法等の適合性確認、施設の劣化度調査などを予定している。
- 問** 文化会館あり方検討委員会の構成メンバーと、スケジュールは。
- 答** 委員構成は、建築や音響関係の学識経験者、自治会、文化団体、小中学校等の関係団体・機関の代表者、一般公募により選出した人を予定。
- 問** 検討委員会は本年度に3回開催する。8月から2回開催した後に調査に入る。来年度は2回開催し、秋に概ね終了したい。
- 問** 榎平成大野屋が解散と判断された経緯と理由は。
- 答** 令和2年からのコロナ禍の影響により収支のバランスが崩れ、安定した利益を確保できていない状況であった。これからの本市を取り巻く環境の変化や観光の推進に当たって、民間活力を生かした新たな体制整備を同社と検討してきた。
- 問** 文化会館あり方検討委員会の構成メンバーと、スケジュールは。
- 答** 委員構成は、建築や音響関係の学識経験者、自治会、文化団体、小中学校等の関係団体・機関の代表者、一般公募により選出した人を予定。
- 問** 新組織はどのようなものか。
- 答** 大野市観光協会、大野商工会議所、越前信用金庫の財産拠出による一般財団法人で、(仮称)「越前おおの観光ビューロー」として今秋に設立する。

本市の主要駅にタクシーが少ないことをどう考えるか



清風会

山崎 利昭

議員



一般質問

タクシーも公共交通の一つに位置付ける

問 本市の主要駅である越前大野駅のタクシーの現状は。

答 市内のタクシー業者は3社。うち1社は和泉地区で営業している。市街地で常時運行しているタクシーは4台ある。

問 勝山市のように、公金を使ってタクシーの充実を図っては。

答 タクシーも公共交通に位置付け、交通ネットワークの再構築を図っていけないか調整を開始している。

問 介護タクシーの現状と、助成制度の現状は。

答 市内の介護タクシー事業者は2社で、車椅子のまま乗り降りできる車両を1台ずつ保有している。

助成制度としては、65歳以上の自動車運転免許証を持たない人に、乗車券を年間3000円分交付している。また、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A1・A2、精神障害者保健福祉手帳1級・2級を所持する人に、初乗り運賃分の乗車券を年間24枚交付している。

問 タクシー料金が高く、経済的負担が非常に大きくなっている。核家族化が進み送迎が困難な高齢者、障がい者、車椅子の人には、制限を設けずに、しっかりとした助成制度を設けるべきではないか。理事者の本気度は。

答 高齢者、障がい者に配布しているチケットは、それぞれ助成制度が違うので、内容を整理して、助成額やチケットの利用方法などの見直しを図りたい。

くらし産業

常任委員会審査報告

(白崎委員長、廣瀬副委員長、長、笹山、猪嶋、林、山崎、廣田、梅林)

文化会館のあり方検討

◎理事者の説明

文化会館のあり方について、専門家や公募等によるメンバーで構成する検討委員会において、耐震性が不適合な現文化会館に替わる施設を検討する。

平成30年度に策定した大野市文化会館整備基本計画の整備方針も案の一つとして、他の既存施設を改修・増築して活用する整備案も検討するため、建築基準法等の適合や劣化度の調査を行い、施設整備費用の算出及び整備図面の作成を行う。

◎委員の意見

新築するのか、既存施設を活用するのかについて費用等を比較する場合



大野市文化会館

は、機能や座席数など仕様のレベルを合わせた検討を求める。

また、現文化会館は指定避難所や選挙の投票所でもある。文化の拠点をどうするかを第一に考えたいが、それらの機能についても、遺漏のないよう検討されたい。

検討委員会の設置に当たっては、何を検討するのかを明確にされたい。また検討委員に設置目的を十分に説明した上で、検討委員会を開催されたい。

道路・河川監視カメラ導入事業

◎理事者の説明

河川監視カメラを、新堀川の泉町地係と善導寺川の和町地係に各1台、また積雪センサー付きの道路監視カメラを和泉スキー場への県道からアクセス道路に1台設置する。

監視カメラの設置により、大雨等による河川水位の状況や、積雪の状況をいち早く把握でき、より迅速な対応が可能になり、市民も情報を閲覧できるようになる。

◎委員の意見

監視カメラの情報を市民が効率よく入手することも防災上必要であると考えられるので、県の防災関係のサイト等にも掲載されたい。

電気・ガス価格高騰緊急対策事業補助

◎理事者の説明

県の電気・ガス価格高騰緊急対策給付金を受けた市内事業者を対象に、本市が一事業者当たり一

律20万円の給付金を上乘せするもので、大野商工会議所を窓口として支給する。

◎委員の意見

社会情勢や国・県の動きを注視しつつ、商工会議所の支給窓口が届く声などもしっかり把握し、今後の産業の活性化支援につなげられたい。

公共施設に関しては、昨年度に実施した公共施設太陽光発電等導入調査事業の調査結果や、本庁舎の太陽光パネルの発電量の情報などについては、施設を所管する部署と情報を共有し、各施設の電気料金削減を検討されたい。

結ステーションと周辺施設に関わる各課の情報共有と十分な協議を求めると。

◎委員の意見

結ステーションと周辺施設に関わる各課の情報共有と十分な協議を求めると。

市としては新組織の運営基盤強化のため、必要経費の補助や人的支援を行う考えがある。

結ステーションと周辺の施設を、この新組織との供用開始が計画されている屋内型子ども遊び場施設の指定管理者の3者がそれぞれ管理する。

観光を軸に稼ぐ新組織の設立

◎理事者の説明

観光関連産業の振興、事業者の稼ぐ力の向上及び交流人口の拡大に取り組む新組織で一般財団法人の（仮称）「越前おの観光ビューロー」の今秋の設立に向けて、現在、平成大野屋、大野市観光



結ステーション

くらし産業常任委員会 行政視察レポート

5月23日～25日に実施しました。

宮城県牡鹿郡女川町では、東日本大震災からの復興のまちづくりとして、居住地を津波が届かない高台に移転し、女川駅前に商業拠点シーパルピア女川などを整備しました。ハード整備を終え、今後は公民連携で人流を促すイベントを実施していきます。

長野県上田市では、新規就農者がスマート農業を学ぶプロジェクトにNTTグループや地元農業団体と取り組んでいます。ハウス内の温度・湿度などの環境データを収集し、病害虫の発生しやすい環境を可視化することで、新規就農者でも安定して農作物の栽培ができるよう研究を進めています。

福島県双葉郡浪江町では、町全体を水素エネルギーで動かす「なみえ水素タウン構想」を策定しました。棚塩産業団地を造成し、経済産業省の外郭団体、東北電力、東芝、旭化成などと水素エネルギーの研究に取り組んでいます。



福島水素エネルギー研究フィールド

総文厚生常任委員会 行政視察レポート

5月16日～18日に実施しました。

東京都西東京市では、介護給付費の抑制や元気なシニアが生きがいを持った担い手となるなどの効果を期待し、フレイル予防事業を実施しています。

本事業は、高齢者のデジタル機器全般への苦手意識の払拭や多世代交流が期待されるeスポーツに取り組んでいます。

千葉県野田市では、学校以外での学習機会の少ない中学生や授業への理解の差が目立ってくる小学校3年生を対象に、放課後に学校や公民館などでの学習支援を行っています。

また、令和2年度から野田市独自のICT推進プロジェクト「NICT（ニクティ）」をスタートし、教育委員会と各学校の教職員が連携してICT教育に取り組んでいます。

茨城県古河市では、市が保有する複数施設の全体把握と長期的な視点による施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことで、財政負担の軽減等を実現するため、公共施設包括管理委託を取り入れています。

修繕履歴等の管理情報のデータ化・共有化により、大規模修繕の予防や職員の負担軽減につながっているとのこと。



古河市包括管理業務システムの説明

(高田委員長、伊東副委員長、
帰山、岸本、木戸屋、野村、
堀田、高岡)

屋内型子どもの遊び場整備

◎理事者の説明

今後、実施設計業務受託者と指定管理予定者をプロポーザル方式で選定し、指定管理予定者の意見も踏まえながら、基本計画に沿った実施設計を行う。

◎委員の意見

市民の期待が大きい施設であるため、利用者に楽しんでもらえる安心・



屋内型子どもの遊び場内装イメージ図

安全な施設となるよう、受託者等の選定では、応募された提案をしっかりと審査されたい。

また、越前おおののまちなか交流センターを利用するスポーツ団体等に対し、代替施設等について、丁寧に対応されたい。

長期休業中の子どもの居場所づくり

◎理事者の説明

夏休み期間中に、放課後子ども教室を拡充し、乾側・小山・上庄・富田・阪谷地区の児童を対象に、「学びと遊びと体験の広場」と称し、エキサイト広場を主会場に、放課後児童クラブとの交流や、スポーツ推進課が開催するBG塾などと連携し、幅広い体験ができる事業を実施する。

◎委員の意見

多くの要望にこたえて実施される事業であり、参加する児童とその保護者の実情に寄り沿った、参加して良かったと思ってもらえるものとなることを期待する。



BG塾 調理体験

保育サービス向上支援システム、学童保育かんたん連絡ツールの導入

◎理事者の説明

保育サービス向上支援システム導入事業は、アプリを活用したシステムを公立保育園3園に導入し、保護者は園児の出欠連絡や連絡帳の閲覧などがスマートフォンで可能となる。

また、学童保育かんたん連絡ツール導入事業では、公民館等で実施する放課後子ども教室と、児童館で実施する放課後児童クラブで、児童の出欠連絡、入退室確認、保護者への事務連絡などがスマートフォンで可能となる。

◎委員の意見

システム導入により維持費等が恒常的に発生するため、経費に見合う活用を行うとともに、情報漏えいを防止するためのセキュリティ管理を徹底されたい。

らくらく施設予約システム導入事業

◎理事者の説明

学校体育館などの施設利用者の利便性向上を図るため、施設予約と鍵管理のシステムを導入する。

◎委員の意見

体育施設等では、予約のキャンセルや使用料の支払い、キャンセル時の返金などの対応が必要となるが、現時点で運用方



学校体育施設

法に未確定な部分が多い。システム導入の際は、利用団体の意見も参考とし、施設利用に係る一連の業務において、市民が利便さを感じることできるシステム運用を行えるよう、しっかりと検討されたい。

また、受講者の希望にかなう学びの場を提供するため、若者や親子、企業等で働く人を対象とした多様な講座の実施を予定している。

生涯学習講座手帳

◎理事者の説明

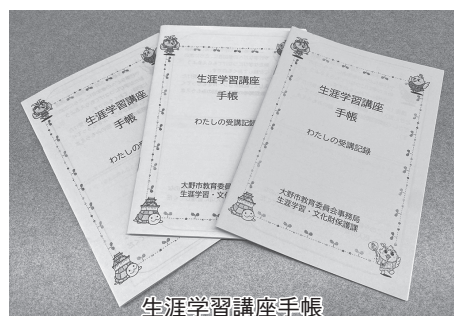
市民の生涯学習関連講座への受講意欲を高めるため、受講者にシールを付与し、そのシールをより多く集めた人の表彰と、一定数以上集めた人に対し図書カードを進呈する取り組みを開始した。

◎委員の意見

また、受講者の希望にかなう学びの場を提供するため、若者や親子、企業等で働く人を対象とした多様な講座の実施を予定している。

◎委員の意見

受講者の増加に向けて、新たに作製された生涯学習講座手帳を有効に活用されるとともに、高校生を含めた若者が市内



生涯学習講座手帳

越前おおの高齢者福祉計画・第九期大野市介護保険事業計画の策定

◎理事者の説明

介護サービス利用者等を対象に実施した各種調査の結果と、国の指針を踏まえ、介護サービス事業所から意見聴取などを行い、年度内の計画策定を目指す。

◎委員の意見

介護サービス利用者の不便や困りごとなどの状況を的確に把握し、次期計画にはその対応について反映されたい。

令和5年6月第435回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認・同意・趣旨採択された議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名		
市長提出議案	41	可決	令和5年度大野市一般会計補正予算(第2号)案	50	可決	不動産の譲与について	
	42	可決	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	51	可決	不動産の譲与について	
	43	可決	大野市火災予防条例の一部を改正する条例案	52	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度大野市一般会計補正予算(第11号))	
	44	可決	開成中学校長寿命化改良(統合)工事請負契約の締結について	53	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度大野市一般会計補正予算(第1号))	
	45	可決	陽明中学校長寿命化改良(統合)工事請負契約の締結について	54	承認	専決処分の承認を求めることについて(大野市職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例)	
	46	可決	下庄小学校大規模改造(統合)工事請負契約の締結について	55	承認	専決処分の承認を求めることについて(大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	
	47	可決	不動産の譲与について	57	同意	国定資産評価員の選任について	
	48	可決	不動産の譲与について	市会案	2	可決	大野市議会基本条例等の一部を改正する条例案
	49	可決	不動産の譲与について	陳情	1	趣旨採択	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名		議員名(議席番号順)	議決結果	笹山晃一	埴山寿章	猪嶋清文	岸本一敏	白崎貴之	木戸屋八代実	林順和	廣瀬浩司	伊東由起恵	山崎利昭	野村勝人	高田育昌	廣田憲徳	堀田昭一	梅林厚子	高岡和行
出市議案提	56	専決処分の承認を求めることについて(大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○
請願	1	「刑事訴訟法の再審規定」の改正を求める意見書を国に提出するよう求める請願	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	否	否	/	否	否

議長(堀田昭一)は採決に加わらないので「/」で表示。議案等に賛成○、反対×。請願の願意に賛成「賛」、願意を否とする場合「否」。

令和5年5月第434回臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・同意された議案

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名		
出市議案提	39	可決	消防ポンプ自動車売買契約の締結について	出市議案提	40	同意	副市長の選任について

9月市議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
	本会議(開会)	議事調査	議事調査 質問通告締切	議事調査	議事調査	
10	11	12	13	14	15	16
	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	議事調査	常任委員会(くらし産業)	常任委員会(くらし産業)	
17	18 敬老の日	19	20	21	22	23
		常任委員会(総文厚生)	常任委員会(総文厚生)	特別委員会(中部縦貫自動車道等交通対策) (こども政策・公共施設等改革)	委員会予備日	秋分の日
24	25	26	27	28	29	30
	委員会予備日	本会議(閉会)				

市議会の本会議や委員会は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。

本会議と常任委員会の開会時間は午前10時、中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会の開会時間は午前10時、こども政策・公共施設等改革特別委員会の開会時間は午後1時を予定しています。ただし、開会前の会議により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

(☎0779-64-4830)

特別委員会 報告

▼中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会

(山崎委員長、高田副委員長、
長、帰山、岸本、林、梅林、
高岡)

中部縦貫自動車道の事故時の対応

◎理事者の説明

県内区間の早期全線開通に向けて、必要な財源確保のため、要望活動を続けていく。

◎委員の意見

大野油坂道路は2車線のため、事故等による長い渋滞の発生が予想される。

事故発生時の対応について、国等に再度確認するとともに、十分でない場合は必要な改善を求められたい。

国道158号境寺・計石バイパスの整備促進

◎理事者の説明

令和5年度は、境寺町

地係等で用地補償、野波町地係で橋りょう工などが予定されている。

◎委員の意見

多くの市民の生活に密接に関わる道路であり、早期完成は極めて重要である。本市の最重要課題である人口減少対策としての効果も期待される。

福井市の理解・協力を得ながら、県や国に対し早期完成を強く要望されたい。当委員会としても全面的に協力する。

公共交通機関の利用促進

◎理事者の説明

市内公共交通機関の利用者数は、人口減少や少子化の進展、運転免許保有率の増加により減少している。さらにコロナウイルス感染症で急激に落ち込んだ。

令和6年度から始まる大野市地域公共交通計画の策定と合わせて、路線の再編成など、市内公共交通ネットワークの再構築を進める。

◎委員の意見

越前大野駅が無人化さ

れて、みどりの発券機が設置されている。本機の便利な機能について、市民にもっと周知すべき。使用に関する講習会などを実施してはどうか。

また、タクシートの台数増加や営業時間延長のため、タクシー業者への支援なども検討されたい。

大野油坂道路の早期開通の要望活動

6月27日・28日に、中部縦貫自動車道大野油坂道路の一日も早い全線開通を実現するため、石山市長にも同行いただき、地元選出国會議員、国土交通省本省・近畿地方整備局等に対する要望活動を行いました。



国土交通省への要望

▼こども政策・公共施設等改革特別委員会

(伊東委員長、猪嶋副委員長、
長、笹山、白崎、木戸屋、
廣瀬、野村)

こども家庭センターの設置

◎理事者の説明

国は、こども家庭庁を設置して、切れ目なく、きめ細かい子育て支援をするため、児童福祉法を改正し、令和6年から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を維持し一体的に取り組み「こども家庭センター」の設置を市区町村の努力義務としたところである。

このことを受け、本市では令和6年4月のこども家庭センター設置を目指し、必要となる統括支援員の育成に取り組んでいる。

◎委員の意見

統括支援員が、組織のマネジメントや関係機関との調整ができるよう、活動しやすい環境を整えられたい。

大野市公共施設等総合管理計画(大野市公共施設再編計画編)の進捗

◎理事者の説明

令和4年度の上庄堆肥センターの解体、西里団地の一部解体により、公共施設の延べ床面積を2699.83平方メートル削減し、令和5年度は、旧奥越農業共済事務所や和泉体験農園堆肥舎の解体により延べ床面積を約1200平方メートル削減の見込みであり、本計画は順調に進捗している。

◎委員の意見

施設の解体には経費を要することから、廃止と判断した建物で、引き続き利用することができるものについては、まずは売却等ができないか検討されたい。



西里団地の一部解体

編集後記

新型コロナウイルス感染症は、本年5月8日に感染症法上の5類に移行され、ようやく街に賑わいが戻りつつあるように見えます。

しかし7月に入り、九州地方をはじめ各地で、豪雨・土砂災害により甚大な被害が。また、本市においても住宅浸水が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

振り返りますと、本市では昨年8月の豪雨でも住宅浸水が発生しました。市民の皆さんには、災害に関する情報共有と対策をお願いいたします。

梅雨明け後は、猛暑が予想されます。くれぐれもお体にはご自愛いただき、ご家族そろって素晴らしい日々を送っていただきますようお願い申し上げます。

(座長 山崎 利昭)

議会だより

編集委員会

委員 山崎 利昭
岸本 一敏
伊東由起恵
梅林 厚子

※次回は、10月下旬の発行を予定しています。